

今年も元気に育ってね！

～処分場敷地内の巣箱でフクロウのヒナが孵（かえ）りました～

東京たま広域資源循環組合（管理者：東村山市長 渡部 尚）では、2月28日にフクロウが谷戸沢処分場に営巣したことをお伝えしましたが、4月3日に1羽目のヒナを、4日に2羽目のヒナを確認できましたので、お知らせします。

処分場敷地内の巣箱でヒナの孵化が確認されたのは、今回で7回目となります。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



お母さんフクロウがお出かけ中のヒナたち【4月4日撮影】
(生まれたばかりのフクロウのヒナは、きれいな白色をしています。)

現在、フクロウは巣箱の中で子育てを行っております。5月初旬ごろには、ヒナの巣立つ姿を見ることができると思われます。今後も、フクロウの子育て状況を温かく見守ってまいります。この子育て状況については、ヒナの巣立ちまで、逐次、循環組合のホームページに写真を掲載してまいります（ただし、アライグマなどに襲われ、営巣を放棄する可能性もあります。）。

◆ 循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com>



巣箱内でのフクロウの様子

【4月3日 お父さんフクロウから、エサをもらうお母さんフクロウ】



【4月4日 生まれて間もない2羽のヒナ】

